

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 野村紀代彦
幹事 山下雅則
会報委員長 藤井邦彦

2021 ~ 2022年度 国際ロータリー シェカール・メータ 会長テーマ

Serve to Change Lives 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3137回例会プログラム

[当年度=14回目；当月=5週目]

2021年（令和3年）11月29日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点鐘……………〈会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……………四つのテスト

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 会長挨拶並びに会長報告

7. 幹事報告

8. 出席報告

9. 委員会報告

10. ニコニコボックス報告

11. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(12/6) ……

卓話 「多彩な睡眠障害について」

講師 大竹耳鼻咽喉科・睡眠クリニック

院長 大竹 宏直 様

(紹介者 石川 泰隆 会員)

(12/13) ……クラブ総会

次年度理事役員選出

13:00 12. 本日のプログラム

卓話 「あなたの大切な人が
認知症になったら」

講師 とみやすクリニック

院長 富安 斉 様

(紹介者 石川 泰隆 会員)

13. 謝辞

14. 点鐘……………〈会長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散会

出席

会員総数 99名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 94名
欠席 11名 出席率 88.29%
前々回(11/8)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 国際ロータリーよりマルチプル・ポールハリス・フェロー 5回の認証ピンバッチが野村紀代彦会員に届きました。
- 2) 11月23日火曜日、西三河分区ガバナー補佐杯親睦ゴルフ大会が葵CCで開催されました。団体で刈谷クラブが団体優勝となりました。刈谷ゴルフ例会ではグロス103、ネット72.2で深谷稔彦会員が優勝されました。
- 3) 国際奉仕事業、音声翻訳機ポケットーク寄贈のお礼状が刈谷市教育委員会より届きました。
- 4) 11月22日月曜日、本年度カーボンゼロ事業としての超小型電気自動車コムスの贈呈式が刈谷市役所で行われ神野会員、近藤純子会員、丹羽会員、藤井会員、山下幹事と出席してきました。



幹事報告

- 1) 本日例会終了後に特別会議室にて第6回理事会を開催致します。関係の会員はご出席をお願い致します。

会長あいさつ

野村紀代彦



ロータリークラブ、正確にはロータリー財団には奉仕活動の重点項目があります。平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、そして新しく環境という重点分野が追加され

ました。追加される以前もグローバル補助金事業として環境問題に過去五年間、1800万ドル以上が使われてきました。最近では世界的に環境問題が大きくクローズアップされていますがその他の6つの重点分野が解決されたわけではありません。今日はあまり日本人には馴染みのない識字率について少しお話しさせていただきたいと思えます。識字率、つまり読み書きができる能力のことですが日本人が100%かというところではありません。先進国でも読み書きのできない人は一定数います。しかしながら世界にはいまだに、文字の読み書きができない人が約7億7,300万人もいるとされており一部のアフリカ諸国、中東では依然として識字率は50%から40%程度でこのような国では紛争、戦争が多いという傾向があります。識字率が低いと文字による正確な情報が伝わらずさまざまな判断や行動に支障をきたします。日常では買い物の際に見た目でしか判断できない、薬を買うにも効き目や服用法が分からない、時には他人の言葉で悪い方向にミスリードされてしまうこともあるかもしれません。自分の名前が書けない、資料が読めない、書類に正しく記入ができないために仕事を得られない、または低賃金の仕事にしかつけないなど貧困の連鎖がおきて、多くの人がそのような状況に置かれるとその地域にいろいろな問題が起きてくるのが想像できます。基本的教育を受けられる環境を作り識字率を向上させることは平和のために重要なことは言うまでもないと思えます。皆さまからの寄付で行われる補助金でこのような問題を解決していく人材の育成、奨学金制度、教育者や学習資料などの援助などが行われています。そしてこのような活動は主にグローバル補助金で行われますが、大切なことはその支援が持続可能で効果が測定可能であり将来的にはその地域社会が主導していく状況にしていくということです。話は少しそれますが識字率のことを英語では Literacy Rate といいます。最近ではリテラシーはいろいろな情報を見極め取捨選択する能力というように使われています。情報リテラシー、メディアリテラシー、ITリテラシー、金融リテラシー、医療リテラシーなどさまざま使われています。あまりに情報が氾濫している現代ではフェイクニュースや偏ったメディア情報などで問題も起きています。今日は認知機能についてのお話で楽しみにしております。私も少し物忘れ、うっかりが増えてきましたのでいろいろなリテラシーを高めると同時に今日のお話を参考にしたいと思えます。



卓 話

「あなたの大切な人が認知症になったら」

講師 とみやすクリニック
院長 富安 斉 様



2015年認知症患者数520万人(2025年には730万人)で治療を必要としている患者さんは非常に多く、年間10%が認知症に移行するとされる軽度認知機能障害(MCI)400万人を合わせると900万人以上と推定されます。つまり認知症はありふれた疾患

で高血圧や糖尿病など生活習慣病と同じように誰もが認知症になっても何の不思議もありません。あなたの大切な人が認知症になったときにあわてないように準備が必要です。今日は①認知症とは、②アルツハイマー型認知症(AD)について、③かかりつけ医の役割についてお話しします。

認知症とは一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態のことです。認知症をおこす代表疾患はAD、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症などがあり、これらは四大認知症と呼ばれますが6割以上はADです。まずはADを理解し他の疾患はADとの違いに注目して整理していくのがよいと思えます。

ADはアミロイドβ蛋白(Aβ)が脳にたまることで発症します。海馬などの辺縁系から始まり、頭頂葉、側頭葉に、最後には前頭葉に病変が及びます。病気の進行に伴いこれらの病変の症状が出てきます。つまり物忘れで始まり、遂行機能障害、失語、先行、失認などが出現し、最後には自発性が低下してきます(中核症状)。

ADの症状は中核症状とBPSD(認知症に伴う行動・心理症状)にわけて考えます。前者はすべてのAD患者に共通する症状で緩徐に進行していきます。後者は周辺症状とも呼ばれます。妄想、暴言・暴力、介護抵抗などの症状で家族が振り回されてしまう症状です。BPSDは人それぞれで早期より激しい人もいれば、目立たない人もいます。

刈谷市には7,000人程度の認知症、MCIの方がいると推測されますが、これらの方を数人の神経内科医で診て

いくことは不可能です。認知症診療で大切なのはかかりつけ医が中心となった専門医や介護職など多職種との連携です。

健康診断



第6回理事会

I 会長挨拶 〈会 長〉

II 議 題

1. 12月・1月のプログラム（案）について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈プログラム委員長〉
2. 新年例会並びに合同懇親会について
 - 〈クラブ奉仕委員長〉
 - 〈親睦活動委員長〉
3. 新会員について
 - 〈幹 事〉
4. 第22回そろばんフェスティバル後援について
 - 〈職業奉仕委員長〉
5. RYLA セミナー参加について
 - 〈青少年奉仕委員長〉
6. インターシティー・ミーティング（IM）の登録について
 - 〈幹 事〉
7. ロータリー希望の風奨学金への支援協力について
 - 〈幹 事〉
8. 中部経済新聞社年賀広告について
 - 〈幹 事〉
9. 出席規定適用免除の申請について
 - 〈幹 事〉
10. その他

III 会場監督の所見

11月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和3年11月23日(火)

於：葵カントリークラブ

成 績	氏 名	G	H	N
優 勝	深谷 稔彦	103	30.8	72.2
2 位	奥野 櫻子	84	12.0	72.0
3 位	横山 昌幸	88	15.6	72.4
B B	野村紀代彦	126	30.0	96.0

